

## 県立高校の建替えについて

### 【これまでの経緯】

- 宮城県沖大地震など受け平成 15 年に「県立学校施設耐震化整備方針」を策定。
- 昭和 30 年代建築の校舎は「改築」とし、うち 9 校 14 棟は平成 23 年度末に完了。
- 残り 13 校 16 棟は、中国四川大地震や岩手内陸地震を受け、生徒の安全の早期確保のため耐震補強に方針を変更（平成 23 年度完了）し、改築は平成 31 年度以降に先送り。

### 【今後の方針】

- 昭和 30 年代建築の校舎は、平成 31 年度以降順次改築。
- 改築順は、「今後の学校の在り方検討」を踏まえ、次のとおりグループ化し、原則、A、B、C の順に改築を進める。
  - < Aグループ >・・・B、C に属さない県立学校（6 校）
    - ・岐山、岐阜総合、本巣松陽、羽島、加茂、華陽フロンティア
  - < Bグループ >・・・産業教育審議会で今後の在り方を検討中の学校（5 校）
    - ・岐阜工業、大垣工業、可児工業、多治見工業、中津川工業（G 2）
  - < Cグループ >・・・小規模化の進行が急な学校（2 校）
    - ・瑞浪（G 1）、土岐紅陵（G 1）
- Aグループ 6 校については、平成 30 年度に基本計画を策定し、平成 31 年度以降毎年度 2 校程度改築を実施。

### 【その他参考事項】

- 県立学校の校舎等の建築年代（別添資料参照）
- 改築対象校舎（13 校 16 棟）一覧（別添資料参照）

# 県立学校の校舎等の建築年代

延面積500㎡以上の校舎等(200㎡以上の居室を有する建物を含む)

H29.11.1現在

建築年		昭和30年代	昭和40年代	昭和50年代	昭和60年以降	合計
県立 高校 63校	棟数	16	83	125	150	374
	校舎	16	68	74	67	225
	体育館等	0	15	51	83	149
	割合	4.3%	22.2%	33.4%	40.1%	100%
特支 20校	棟数	0	6	36	36	78
	校舎	0	5	23	24	52
	体育館等	0	1	13	12	26
	割合	0.0%	7.7%	46.2%	46.2%	100%
合計	棟数	16	89	161	186	452
	割合	3.5%	19.7%	35.6%	41.2%	100%

改築対象校舎（13校16棟）一覧

番号	校名	対象校舎	用途	建築年	構造	延床面積 /㎡	規模
1	岐山高校	北舎（普通教室棟）	特別・普通教室棟	S38～51	鉄筋コンクリート造	4,933	地上4階
2	岐阜総合学園高校	2号館	特別・普通教室棟	S37～53	鉄筋コンクリート造	4,717	地上4階
3	本巣松陽高校	北舎（理科特別棟・普通教室棟）	特別・普通教室棟	S35～41	鉄筋コンクリート造	2,665	地上3階
4	羽島高校	南舎（本館）	管理・普通・特別教室棟	S36～38	鉄筋コンクリート造	2,556	地上3階
5	岐阜工業高校	3号館	普通・実習棟	S31～48	鉄筋コンクリート造	2,271	地上4階
6	大垣工業高校	第4校舎（南舎）	管理・普通・実習棟	S38～48	鉄筋コンクリート造	4,383	地上4階
7	加茂高校	第1棟（普通教室棟）	管理・普通・特別教室棟	S39～43	鉄筋コンクリート造	2,913	地上3階
8	可児工業高校	本館（管理教室棟）	管理・普通・特別教室棟	S38～40	鉄筋コンクリート造	2,663	地上3階
	可児工業高校	実習棟（実験室棟）	実習棟	S38～45	鉄筋コンクリート造	2,876	地上3階
9	多治見工業高校	1号館	実習棟	S34～41	鉄筋コンクリート造	1,682	地上3階
	多治見工業高校	3号館	実習棟	S39～46	鉄筋コンクリート造	2,314	地上3階
10	土岐紅陵高校	校舎（理科棟）	特別教室棟	S38	鉄筋コンクリート造	1,506	地上3階
11	瑞浪高校	本館（第1校舎）	管理・普通・特別教室棟	S38	鉄筋コンクリート造	3,992	地上3階
12	中津川工業高校	本館（管理教室棟）	管理・普通・特別教室棟	S38～39	鉄筋コンクリート造	2,489	地上4階
	中津川工業高校	第2校舎（実験実習棟）	実習棟	S39	鉄筋コンクリート造	2,982	地上3階
13	華陽フロンティア高校	本館（管理特別教室棟）	管理・普通・特別教室棟	S39～44	鉄筋コンクリート造	3,482	地上4階

\*建制順による